

時事新報

時報新報

第千五百五十八號
明治二十年四月九日 土曜日
舊曆三月十六日 (甲辰)
日入午後五時三十分
日出午前六時三十分
月入午前六時四十分
月出午後六時三十分
西曆一千八百八十七年

北海道改正水産稅則

北海道の土地の殆んど九州に二倍して農耕漁業等の利を得ず蓋し政府が維新以來その開拓に盡力せし内地の貧民を移して之に衣食を得せしめ漸く其地方の繁榮するに隨て自然に國庫の所入も増加するの主意なりしからん明治二年七月始めて開拓使を置き十五年二月に一度これを廢して函館札幌根室の三縣となし十八年十二月更に北海道廳を置き今日に至るまで其成績を見るに政府の初志も未だ大に達せざるものと云ふ可らざる如し抑も政府が從來北海道の爲め國庫の財を支出せし隨分巨額にして明治二年より十六年まで合計凡そ三千萬圓に至り以後年々凡そ二百五十萬圓を支出せし其輸入の地租雜稅及び水産稅に官設工場を支出を加ふるも年々百萬圓に過ぐることを甚だ稀なり政府が斯くまで北門を力に籠めて尙ほ事の舉らざるは官民共に憤れざる大事業なりし故あらんと雖も唯惜む可きは國庫の大金のみ明治十七年の統計を見るに全道の人口二十七萬三千三百四十八に過ぎずして其人口の多少田畑の廣狹を内地に比すれば每一方里に付き左の割合なり

人口	
北海道	四十四人
内地	二千六十八人
田	百四十一町四反
畑	一町六反

又同年海産物の收穫の合計五百萬圓にして茲にその道の事情に通じざる人の物語に由れば維新前に比するに海陸の産物共々左まで増えたるに非ず今日にては官設工場の産物を除けば其餘は大に舊面目を改めたるもの多し移住人口も明治六年より十六年まで毎年平均四千二百人にして一度移住するも更に内地に歸る者も亦多しと云ふ政府は此成績を得るが爲めに毎年百五十萬圓を費しることとて我々内地人民の慈目と以て見れば此大金惜まむ可しの歎きを得ず

近來政府もこれを見る所ありしならん昨年七月には内地の貧民に旅費小屋掛費など支給して移住せしむる辦法を止め大官設工場は或は中止し或は拂下げたるもの多し本年度の算計豫算表も地租及び水産稅を改正するの見込あることを告示せしが去月三十一日終る改正水産稅則を布告せり是れ若保護政策を廢して人民の移住を其自然隨意に任せる主義にして之に向て竊に贊成の意を表せざるを得ず元來北海道の水産稅なるものは其由来既に久しく幕府の治世、松前侯の此地を管轄せし時にも其制あり維新の後蝦夷の名は變じて北海道と改まり諸侯の管轄の廢して開拓使と爲りたるも稅法などの事の先づ舊慣を存しることなきは往々不都合の箇條なるも深く怪しむに足らず第一この稅は現物を以て徵収するの法ありしが故に官民の不便甚だ少からず水産稅額の五分の一常に徵收費用を要する程にて人民は亦それが爲めに荷作り差支へ賣込に損を失ひ種々の不便ある其上に稅率も亦輕からずして然かも地方に從て一様ならず少きは一割より多きは二割に及

次別に又出港稅として現品の百分四を納るの法あり明治十六年の有稅海産物收穫は合計四百四萬二千二百七十七圓にして其稅額は合計五十六萬三千四百九十圓とす即ち平均一割四分に近し然るも今度の改正に由り出港稅を全廢して唯收穫物の實價百分の五と金納するものとあり政府に於ても徵收の費用を減らしたるのみならず人民も爲め大に便利と得て漁業の盛る可きや明白なることにして又政府に北海道の地租法も改正する見込のよしなれば今後水陸の事業共に面目を改るは我輩の信じて疑はざる所なり

然りと雖も又一方より見れば今回水産稅の改正の國庫の爲め謀りて大に其歳入を減少するものならん明治十五年度北海道の國稅合計九十三萬八千七百八圓にして内水産稅六十四萬七千四百九十九圓、又十六年度の國稅合計は六十五萬三千九百九十二圓にして内水産稅五十六萬三千四百九十圓あれば水産稅は總稅額の七八分を占るものなり又十九年度の豫算には水産稅五十三萬八千四百二十五圓とすものが本年度に改正の見込を以て二十萬圓に減少するものなり故に本年度の國稅合計の蓋し三四十萬圓の邊に在る可し地租の如きは年々僅に二三萬圓あれば増加するも減少するも左を論ずるに足る可き數非ず之に加ふる官設工場の収入を以てするも全道歳入の總額五十萬圓以上にするは甚だ覺束なきことならん然るに明治十九年度の豫算に由れば北海道廳の費額二百五十萬圓にして本年度は二百十八萬八千二百五十九圓とあり政府は既に保護政策を止めて兼て又大に其稅額を減らしたるが故に北海道民の身となりては利益大ありと雖も國庫の出納より見れば入に減するものにして出に減するの實なきは誠堪へ難き事あり國稅として入るものは僅に三四十萬圓にして道廳の俸給旅費及び其豫備費のまよても八十二萬七千九百四十圓九錢五厘五毛の支出あり又官設工場の収入は是れまでとて毎年二十萬圓ありしものを近來は之を中止し又拂下げたる其傍に今度は新起事業費五十萬圓とあり何れ其事業は以前の官設工場を以て比すれば性質を殊にするものならんと雖も差向きの處の容易からざる金額にして此外又學校屯田集治の諸費及び地方稅補助費等これを總計して二百十八萬何千圓の金は國庫より出るの計算なり北海道の事二十年來今尙ほ創業の最中とい申さるが近年内地の疲弊も極度に達するの時節我輩は何とか工風して道費の省略を祈るものあり

官報

○海軍省告示第一號
海軍醫學校本月五日芝山内書電信修技學校跡へ移轉ス
明治二十年四月八日 海軍次官子爵樺山資紀
○軍艦着港 米國軍艦モノカッセイ號は去る三日香港より歸り入港セリ
○學生卒業 帝國大學醫學部生左の六名は去る三月三日以降本月一日までに卒業試験に及第せしに依り卒業證書を授けり
青森縣平民太田弘弘 福岡縣平民長谷川 或三 神奈川縣平民井上重作 東京府士族藤村俊一 大分縣平民長谷川三郎 新潟縣平民藤原次郎 大分縣平民藤原次郎 去る四月三日
○伊太利新任内閣員 去る四月三日イタリヤ内閣は内閣總理大臣加藤外務大臣クリスチエーニ(Christiani)は内閣總理大臣(Prime Minister)は工部大臣にベトルムウ(Verlumu)は司法大臣にサラネ(Severani)は工部大臣にベトルムウ(Verlumu)は各々右の職に任ぜられ内閣内閣は去る四月五日附を以て在伊國公使館より電報のり (以上本年四月八日官報)

雜報

○獻上 先般宮内省より高知縣の高知育兒會へ金三百圓を下附せられしにより同會にては其報恩の爲に當時皇居御遊覽中のときれば土佐の名所桂濱の異砂を宮内省に獻上せんと目下同會員は盡力中なりといふ

○一萬三千圓下渡願 去明治八年七月頃高知縣廳内にある土藏の屋根を切破り會計課の金一萬七千圓を盗みたる賊ありしが其嫌疑により高知新市町住西村新藏は其筋へ拘留せられ遂に獄中に於て病死せしが其後年を経ると右の賊の判然せざりしに此頃兵庫縣下尾ヶ崎村にて他の事件に付き捕縛されし高知縣安藝郡安藝村須藤貞雄ある者乃ち右の賊ある事と自狀せしとの事にて亡新藏が相續人西村鐵太郎は父が拘引の際其筋へ召上られし金一萬三千圓の下渡と此程代以て出願及びたりと高知より通信ありたり

○山崎庄左衛門氏 一代に巨額の富を致して和歌山の鴻ノ池と逸世人に評されし同地山崎銀行の頭取山崎庄左衛門翁は客月十五日突然肺炎症に罹りて翌日死亡したり享年六十八歳ありしと

○九州共進會の褒賞授與 豫てより福岡に於て開會中なり九州沖繩八縣聯合第五回米糠茶葉生絲織物六種共進會の去月二十八日褒賞授與式と舉行せしが同日各種第一等第二等の賞與を得たる人々は米一等有働宗龍(熊本縣)二等大串左衛門(佐賀縣)守田精一(福岡縣)末久右衛門(大分縣)富田勝平(熊本縣)茶一等煎茶田代太郎右衛門(鹿島縣)二等紅茶神田清吾(福岡縣)同渡邊(長崎縣)蒲一等片田忠六(大分縣)二等井上重太郎(福岡縣)池永信介(大分縣)隈井哲二(同)生絲一等無(佐賀縣)厚生社(福岡縣)蠶一等相賀安臣(熊本縣)二等黒田精一(福岡縣)鮫木賢司(大分縣)尤九市郎次(佐賀縣)織物一等筑前博多織物會社(福岡縣)二等絹織物幸島龍吾(大分縣)木綿織物赤松社(福岡縣)絹織物松居元右衛門(同)同和田半(長崎縣)等の諸氏なりと

○無政黨の發見 獨逸警官が言ふ所に據れば同警官は獨逸、露西、亞西、亞米利加の各國に於て互に聯絡して通する一大無政黨のあることを發見したると三月十日柏林警報の報に見ゆ

○各國人民負擔の割合 ユーロワードアンドンと云へる人の調査に由れば歐米各國の人民が一人の租稅に國債の負擔高は左の如くありと云へり

○國債 合衆國の人口一人につき國債の負擔は二十三弗にして之に州債を合して二十七弗の割合なり

○廿四弗大英國の百廿七弗和蘭は百十五弗伊太利は八十弗白耳義は七十八弗獨逸は三十九弗の割合あり

○租稅 合衆國は人口一人につき租稅(國稅地方稅都區稅等を含有す)の負擔高は四十五弗伊太利は十四弗四十二弗和蘭は十弗九十九弗白耳義は十一弗大英國は十一弗八十弗獨逸は十二弗佛蘭西は十八弗(年々に政費の欠額を補充する爲め徵集する金高を合すとせば十九弗とある)の割合なり

○墨堤集覽會 有志者が今度其筋の許可を得て一昨七日より向三十日同向嶋長命寺に於て新古の書畫器物等種々の珍品を陳列せ墨堤集覽會ある者と催之無料にて賞花雅客の縱覽に供せると

○春期共同競馬 共同競馬會社にては来る五月二十八九の兩日不忍池畔の競馬場に於て春季共同競馬と執行せ其度數は兩日共九回宛ありと

○船渠の開築 大坂港の常に百餘艘の汽船が出入するも拘はらず同府下に於ける船渠は唯大坂鐵工所及び水田鐵工所の二箇所のみの外船渠の修繕を充る處なく

往々差支を生ずると地西區薩摩町の豪商て同府下西成郡木津築えて船渠の修繕を該船渠の内を二三容る可兒見込なりと

○牛肉の景況 府下戸近傍伊勢、近江、伊が如何なる原因より肉次第に拂底し之がにては該肉卸賣百斤圓にて昨年比今頃今日の有様にては不あらんとの見込あり

○食肉市場設置の計 外三四名の諸氏は府目下其計畫中のよま

○マツタの輸出 横濱歐洲へ輸出せしマツタ地を於て好評を得爾來より盛んに獨逸品に劣らず盛んに

○賣藥商會議 府下各十三日江東中村樓に會議を開く

○山口通信 (三月三十一日) 山口以西警察聯合會より大坂以西警察聯合會に山口中學校一等教師介氏の昨日兼官を免せしに電報を以て通知せし

○八日縣廳へ出頭し山田課員木村陽三氏の先導に於て調査の要あり

○高知通信 (三月三十一日) 高知縣廳へ出頭し山田課員木村陽三氏の先導に於て調査の要あり

○高知通信 (三月三十一日) 高知縣廳へ出頭し山田課員木村陽三氏の先導に於て調査の要あり